



ニュースレター

Vol. 1

* 令和2年10月17日（土）に、第1回公園ワークショップを開催しました !!

* 27人でグループに分かれて、グループワークを行いました !!



コロナ禍での開催。検温や消毒、飛沫防止にご協力いただきました。



現地確認の様子。
敷地周辺の様子や
公園の大きさを
確認しました。
思っていたより
広く感じられた
ようです。



ワークショップの概要

『あなたは公園でどのような時間を過ごしたいですか』
をテーマに次の目的を議論しました。

■目的

- ① 公園の使い方を考えよう
- ② 3つの公園周辺の地域特性を思い出そう
- ③ 地域に欲しい公園を考えよう

■当日の流れ



スライド説明

3つの公園周辺の
地域特性把握

現地確認

(2号街区公園
予定地周辺)
敷地の特性や
大きさの把握

グループワーク

(3つの街区公園を3グループに分かれて議論)

STEP1 * ~ 『こんな公園あったらいいな』
~ 『公園の中にあったらいいもの』

STEP2 * ~ 『キャッチフレーズ』

次回開催日

次回、第2回ワークショップは 令和2年12月5日（土）です

* 1号街区公園 * * *

●キャッチフレーズ

『緑豊かなみんなの公園』

●公園の方向性

- ・幼児から高齢者までが尊重しあって使える公園
- ・時間やエリアにより使い分けできる公園
- ・自然を感じられる木々や小山のある公園

●その他主な意見

- ・老若男女が楽しめる遊具や健康器具
- ・お祭りや防災訓練など、多目的に使える自由広場
- ・地域の成り立ちや歴史を感じられる公園
- ・安全面や管理に配慮したルール作りの必要性

自己紹介。
地域や公園
に対する
熱い思いを
うかがい
ました。



公園のテーマや
使い方について、
公園ごとに話し合い、
みなさんのご意見を
キャッチフレーズに
まとめ、発表してい
ただきました。

* 2号街区公園 * * *

●キャッチフレーズ

『みんなの木陰』

～地域の特徴を活かした多世代の笑顔あふれる公園～

●公園の方向性

- ・自然があり、季節を感じられる公園
- ・幼児から高齢者までが尊重しあい使いわけができる公園
- ・舗装広場と木々や緑の小山など、ゾーン分けされた公園
- ・目的を持って遊びに来られる、特徴を持った公園
- ・みんなの木陰となるような公園

●その他主な意見

- ・災害時やイベントに使える広場、水道、電源等の設置
- ・歴史など地域性を感じられる公園
- ・子供、高齢者のほか、若者が使える、使いやすい公園



町会の方は
みなさん
のご意見を
まとめて
きてくだ
さいました。

3公園共通して、
多世代の人々が
集まれる公園、
それぞれが尊重
しあい楽しめる
公園という意見
が多かったです。



* 3号街区公園 * * *

●キャッチフレーズ

『登戸の顔となる公園をみんなで育てよう!』

●公園の方向性

- ・いろいろな世代の方に対応(保育園の子も含む)できる公園
- ・きれいな場所であるために管理が必要
- ・駅から近いため、災害時にも使える公園
- ・いろいろな世代の人たちがいろいろな使い方ができる公園
- ・管理も含めて利用する意識をもって欲しい

●その他主な意見

- ・朝市やマルシェなどコミュニケーションの場となる公園
- ・駅近の立地を活かした外からの顔としての公園
- ・地域の人たちがみんなで管理・運営し、育てる公園

一部暫定
利用されて
いる公園に
ついての
ご意見が
ありました。



藤子・F・不二雄や
岡本太郎など、
アーティストと
関わりの深い
地域特性を活かし、
アートな公園と
いったご意見も
ありました。